

雪印メグミルク株式会社



雪印メグミルクは、持続可能な開発目標の達成に向け、食料システムの変革への具体的な行動を推進するために開催されるFSSへの支持を表明します。

当社は、CSR重要課題（マテリアリティ）を特定し、持続的な食料システム、特に「質（栄養）・量（供給）両面にわたる食料安全保障」「食料消費の持続可能性」「環境に調和した農業の推進」の実現に貢献するため、日本政府の「みどりの食料システム戦略」などの取組みと連携し、食品ロス削減をはじめとする社会課題の解決に向けて取り組みます。

【具体的な取組み・目標（KPI）】

- ①環境に配慮した商品開発を推進する。（既存商品・新規商品の賞味期限の延長や、賞味期限の年月表示を積極的に推進）
- ②健康寿命延伸への貢献を重点テーマとした食育活動を実施し、2019～2026年度で年間平均4.5万人の参加者数を目指す。
- ③2021年度までに、食品廃棄物リサイクル率95%以上にする。
- ④2026年度までに、認証パーム油100%調達を目指す。
- ⑤日本酪農青年研究連盟の運営支援および酪農総合研究所の活動により、持続的酪農経営を行うための経営管理・技術的支援を行う。

【関連情報】

CSR重要課題（マテリアリティ） <https://www.meg-snow.com/csr/materiality/>

